

# 令和7年度 淀川管内水害に強い地域づくり協議会 (京都府域) 首長会議 議事概要

日 時：令和7年5月21日(水) 13時より

場 所：京都府庁職員福利厚生センター3階第2～第5会議室

## 【出席者】

(委員)

宇治市	松村 市長
淀川・木津川水防事務組合	同 上
城陽市	奥田 市長
長岡京市	中小路市長
八幡市	川田 市長
京田辺市	上村 市長
南丹市	西村 市長
木津川市	谷口 市長
大山崎町	前川 町長
久御山町	信貴 町長
井手町	西島 町長
宇治田原町	勝谷 町長
笠置町	山本 町長
和束町	馬場 町長
精華町	杉浦 町長
南山城村	平沼 村長
京都府 建設交通部	石井 部長
京都府 京都土木事務所	桑場 所長
京都府 乙訓土木事務所	中坊 所長
京都府 山城北土木事務所	田村 所長
京都府 山城南土木事務所	笹井 所長
京都府 南丹土木事務所	小松 所長
(独)水資源機構	
関西・吉野川支社	三戸 支社長
気象庁 京都地方气象台	野村 台長
淀川河川事務所	西澤 所長

(代理)

京都市

亀岡市

澱川右岸水防事務組合 兼

桂川・小畑川水防事務組合

淀川ダム統合管理事務所

廣瀬 危機管理監

石野 副市長

藤井 部長

北垣 副所長

## ■議題

### (1) 淀川管内水害に強い地域づくり協議会について

#### 1) 協議会の概要

#### 2) 令和6年度の活動報告

### (2) 自然災害伝承碑の取組状況報告

#### ・自然災害伝承碑の取組状況

### (3) 令和7年度の重点取組

#### ・要配慮者利用施設における避難訓練の実施

### (4) 意見交換

### (5) 今後の予定

## 【開会挨拶】京都府建設交通部 石井部長

- ・近年水害が激甚化、頻発化している。統計的に見ても、1時間降水量80ミリ以上、日降水量300ミリといった雨の頻度が1980年ごろと比較してほぼ2倍に増加しており、昨年9月の奥能登豪雨災害をはじめ、毎年のように深刻な被害が全国各地で発生している。また、近年では出水期のみではなく前後への備えも必要であると感じている。昨年の出水期前の5月下旬には福知山市内の2地点で5月の観測史上最大の降水量を観測した。また、出水期後の11月上旬にも府内全域で前線による大雨が発生し、南丹市および亀岡市に土砂災害警戒情報が発表された。雨の降り方がこれまでと変わっているということを認識して備えと対応を行う必要がある。
- ・京都府としては引き続きハードソフト両面の対策を着実に進めることが重要と考えている。
- ・ハード面についてはしなやかで災害に強い地域づくりを推進するため、流域治水の観点から河川改修などの治水対策や土砂災害対策などに取り組むこととし、令和6年度補正予算と令和7年度予算を合わせて治水・砂防関係では前年並みの約173億円を確保したところである。また、ハード整備は治水安全度を高めるとともにまちづくりにとっても非常に重要であると考えている。例えば現在事業中の京田辺市内の防賀川の西浜樋門整備においては治水対策にあわせて区画整理事業により新しい市街地整備を進めている。
- ・ソフト面では水防法の改正により洪水浸水想定区域の指定対象が拡大されたことから、京都府においても令和7年度末までに法指定を終えることとしており、条例に基づき公表済みの河川のうち289河川の法指定を今月末に行うこととしている。関係市町村の皆様も地域住民へのハザードマップ周知等、防災意識向上に努めて頂きたい。
- ・国土強靱化中期実施計画の案において事業規模は今後5年間で20兆円強程度と明記されている。引き続き予算確保にも努めたいので協力をお願いしたい。
- ・本日は昨年度の活動内容や日々感じていることについてご発言を頂くこととしているので、忌憚のない意見をお願いしたい。

## 【1. 淀川管内水害に強い地域づくり協議会について】

### 1) 協議会の概要

事務局より、協議会の概要について説明した。出席者から質問・意見なし。

### 2) 令和6年度の活動報告

事務局より、令和6年度の活動報告について説明した。出席者から質問・意見なし。

## 【2. 自然災害伝承碑の取組状況報告】

事務局より、自然災害伝承碑の取組状況について説明した。出席者からの質問・意見なし。

## 【3. 令和7年度の重点取組】

事務局より、今年度の重点取組として「要配慮者利用施設における避難訓練の実施」について説明した。出席者からの質問・意見なし。

## 【4. 意見交換】

### <宇治市>

- ・ これまで平成24年の京都府南部豪雨災害など大変大きな浸水を経験してきたので、いかに減災していくか、いかに水害そのものを低くしていくかが大切である。特に市民の意識を変えていこうということに重点を置いている。
- ・ 防災シンポジウムは南部豪雨災害の10年後の令和4年に京都大学防災研究所と連携する形で開催した。その際、過去10年間の取組とその後10年間に何をするかについて議論した。対象者は町内会、自治会の役員や自主防災組織のリーダーであり、そこで出た意見は、若い子たちの防災意見を高めていこうというものだった。そこで令和5年、令和6年は中学校と連携した形で防災シンポジウムを開催している。令和5年は中学校の子たちが視察した結果を発表したり避難食を作ったりした。令和6年度は中学校と保護者がシンポジウムのみでなく、子供たちが避難所開設・受け入れを経験するイベントを行った。子供たちの声で日頃からの地域のつながりの必要性を訴えることで、防災意識の高まりにつながると思う。今年度も同様に中学生、保護者や地域の方も巻き込んだ啓発を進めていきたい。

### <城陽市>

- ・ 淀川河川事務所の支援でまるごとまちごとハザードマップを市域内の道路等に21箇所と市管理施設に2箇所の計23箇所設置した。

- ・2月9日に淀川河川事務所の協力のもと地域防災リーダーを対象としてマイ・タイムラインについての研修会を開催した。
- ・各小学校区にある自主防災組織での訓練への支援や助言を行うとともに、ハザードマップが掲載されている防災ブックを活用した出前講座を11回、地域や要配慮者の要望に応じた防災学習会を6回実施した。
- ・自然災害伝承碑として城陽排水機場の敷地内にある石碑について国土地理院のHPに掲載していただいた。
- ・市域における木津川の堤防強化未整備箇所への強化工事着手に感謝している。今後も河川の樹木伐採等、適正な維持管理をお願いしたい。

#### <長岡京市>

- ・国土交通省のワンコイン浸水センサの実証実験に取り組み、市内の18箇所30基を設置した。今年度は市独自で設置を増やす予定である。
- ・都市内水の排除について、これまで府で実施したいろは呑龍トンネル整備や市で実施した貯留施設やポンプ場の整備の効果はシミュレーションでも確認できた。これまでは実績降雨に基づいて時間114ミリで計算を行ってきたが、水防法改正にもなまって想定最大の時間147ミリで計算して今春ハザードマップを改定し、配布した。

#### <八幡市>

- ・水害等避難行動タイムラインを市内3地域でワークショップを行って作成した。これで19の自治会のうち14で作成が完了した。今年度は防災の出前講座24件と小中学校、特別支援学校等でも6件実施した。今後も推進したい。
- ・京都府警航空隊、陸上自衛隊第三師団によるヘリコプターの市役所本庁舎への離着陸訓練を2回実施した。
- ・昨年10月に牽引免許不要のトラック型のトイレカーを導入した。男性用、女性用、多機能の仕様が可能で、便槽のたまり具合はアプリで把握可能である。今回背割り堤桜まつりで試用したが、今後活用していきたい。
- ・水害等タイムラインの作成、まるごとまちごとハザードマップも推進したい。小学校を対象としたデイキャンプの中での水害に対する取組を行っていきたい。

#### <京田辺市>

- ・水害協の支援のもと、地元自治会の意見をもとに近鉄新田辺駅東側10箇所にまるごとまちごとハザードマップを設置した。この設置で市内の設置箇所数が33箇所になった。
- ・出前講座によるハザードマップの説明等を市内12の団体に計13回説明した。今後も継続していきたい。

#### <南丹市>

- ・マイ・タイムラインの作成率を高めていくために講習会等を開いているところである。
- ・ワンコイン浸水センサを試験的に3箇所設置した。今後拡充したい。内水への対策としては体制確認、水防活動手順共有、関係部署との連携強化を進めたい。
- ・日吉町胡麻に洪水の記念碑が、園部町大河内に水害の記念碑が、旧八木町に昭和35年の台風16号についての記念碑があった。自然災害伝承碑の登録については今後調整していきたい。
- ・要配慮者の避難訓練実施率向上のため、今年度実施する2年に1度の防災訓練の中で避難訓練又は手順の確認訓練を行いたい。
- ・過去の大雨警報発表時の雨量を整理して避難行動の初期判断、避難行動、防災体制の取組にいかしたい。

#### <木津川市>

- ・総合防災マップを5年ぶりに改定した。65ページの冊子版と地図版であり、英語版、ベトナム語版も作成している。インターンシップで出された意見も踏まえて内容充実を図ったもので、33500世帯全戸に配布し、外国人の方には外国語版も配布している。
- ・自衛隊、消防隊などと連携して防災フェアでの消火訓練やVRを活用した啓発活動を行い、900名が参加した。
- ・小川流域では淀川河川事務所、京都府の協力で内水排除施設の増強工事が完了した。引き続き排水ポンプ車の車庫、可搬式のポンプユニット等の防災拠点化を図る工事を進めている。

#### <大山崎町>

- ・ソフト面の対策として、毎年淀川河川事務所支援のもと防災伝道師の養成講座を行っている。引き続き実施していく予定である。他の自治体からの情報提供についても協力をお願いしたい。

#### <久御山町>

- ・淀川河川事務所の支援を得てまるごとまちごとハザードマップをこれまでに44箇所設置している。今年度も複数の自治会から要望を受けているので対応したい。
- ・マイ・タイムラインの作成、避難カードの作成方法について説明を行っている。
- ・自然災害伝承碑について、先人の知恵で犠牲をださなかったという歴史もあるので、再認識するきっかけにしてほしい。
- ・4月にかわまちづくり協議会を発足した西一口地区の工事が進められている。船着き場を今後有効活用し、賑わい拠点、将来的に防災活動の拠点にしていきたいのでご協力を賜りたい。

。

### ＜井手町＞

- ・昨年度に安心・安全推進課を設置し、ハード対策として同報系防災行政無線を5月から運用開始しており、ソフト対策として風水害や地震にも対応した総合的ハザードマップへの更新を図っている。
- ・昨年度に自然災害伝承碑を2基登録した。令和7年度にもさらに2基登録予定である。
- ・要配慮者利用施設4箇所について福祉部局、防災部局協力して訓練内容がより充実したものになるよう指導を行う予定である。
- ・内水排除対策として町が管理運用する排水機場の設備改修を行っている。今後ご支援ご協力を頂くとともに国に管理頂いている河川内の流木や堆積に対する維持管理を引き続きお願いしたい。

### ＜宇治田原町＞

- ・防災語り部による防災伝承講演会を開催した。その中で問いかけを行うことで自分事としてとらえてもらうよう工夫している。
- ・災害時防災応援協定を様々な機関と結んでおり、令和6年度には備蓄倉庫、電力、避難スペース提供の協定を結んでいる。
- ・これまでは2つの校区で別々に訓練を行っていたが、今年は中央公園にて合同で実施したいと考えている。

### ＜笠置町＞

- ・笠置保育所にまるごとまちごとハザードマップを設置した。想定浸水深が非常に高く驚いたが、危機意識を高められたと思う。
- ・自主防災組織と連携して2回目の訓練を実施したところ、他の地域からも防災組織の作り方について質問が出るなど、関心が高まってきた。行政側としては避難訓練の中から課題をピックアップしてそれを反映した避難訓練を実施していきたい。

### ＜和東町＞

- ・地域防災に係る住民ワークショップを開催している。
- ・ハード事業として老朽化した橋梁の架け替え等を行っている。
- ・各地区に危険箇所の照会を行い、その中からピックアップした危険箇所についての防災パトロールを毎年実施している。
- ・今後防災マップについてQRコード化するなどバージョンアップを図りたい。
- ・要配慮者利用施設について避難訓練を町も協力して行っている。
- ・昨年度にドローンを4台（1台赤外線付き高性能、3台標準機）を導入し、消防団本団役

員を対象にドローンの基本操縦講習を行うことで昨年有資格者が14名増えた。今年度は基本操縦講習受講者を対象に夜間飛行、目視外飛行訓練を予定しており、あわせてドローンの訓練場所や国家資格の実技訓練場所を設置したいと考えている。

#### <精華町>

- ・これまでに42自治会のうち39自治会で自主防災組織が立ち上がっており、町として自主防災組織の結成、組織同士のつながりを強めるための活動支援に力を入れている。
- ・浸水想定区域等を対象にマイ防災マップ作成事業を進めており、令和6年度に2地区で作成したが、今年度さらに3地区を予定している。
- ・まるごとまちごとハザードマップについて、令和6年度に3地区で設置した。今年度新たに9地区の設置を予定している。
- ・防災情報の発信について多言語対応、公式lineの活用も併せて進めている。
- ・防災部局と福祉部局の連携強化により避難行動要支援者名簿の更新や個別避難計画の作成を行っている。

#### <南山城村>

- ・若者から高齢者まで幅広く参加してもらい、防災意識を高めるために2年前から南山城防災フェスタを開催しており、昨年は京都府災害対策課を招いて地震に関する講演を行った。
- ・幹線道路にある笹瀬橋が老朽化しており、架け替えが重要な防災対策である。
- ・自然災害伝承碑について、村では土砂災害に関するものがある。来月に民間団体の取組で新たに関連モニュメントが道の駅に設置される予定である。そちらにQRコードやおみくじをつけて、見てもらえる工夫を行っている。

### 【5. 今後の予定】

今後の予定として、7月以降に鉄道ワーキンググループ、ブロック別会議を予定していることを共有した。

#### 【閉会挨拶】 淀川河川事務所 西澤所長

- ・重点取組として要配慮者利用施設の避難訓練をあげた。計画を立てるのみではなく、市町村で目標を立てて実際にやって頂きたい。

以上

(105分)